

探訪シリーズ

信長、秀吉の天下統一へのみちのり この頃、新居地方は、それから四国は



応仁の乱（1467）の後、続いた戦国の世も全国統一の機運が高まり、まず織田信長が統一事業に着手したが、本能寺の変（1582）で、なかばにして倒れたのであった。

信長亡き後、当然のこととして家臣による跡目相続の争い、戦が繰り広げられるのであった。いち早く秀吉が山崎の戦い（1582）で明智光秀を破り、翌年には信長の重臣であった柴田勝家を賤ヶ岳の戦いで破り、さらに勝家を越前の北の庄にほろぼして、信長の後継者としての地位を獲得し、壮大な大坂城を築いて全国制覇の拠点とした。

1584（天正12）年、小牧・長久手の戦いで織田信勝（信長の次男）・徳川家康と戦ったが和を講じ、翌1585年には四国の長宗我部元親、1587年（天正15）には九州の島津義久を降伏させ、1590（天正12）年には小田原の北条氏政をほろぼし（小田原攻め）、伊達政宗以下の東北地方の諸大名をも服属させて、ここに全国統一の事業を完成した。

ここで、秀吉の「四国攻め」について簡単に整理してみます。秀吉は、四国統一を成しとげていた長宗我部元親に対し「伊予と讃岐を返上すれば、土佐と阿波は安堵する。」と条件を示した。しかし、これは四国全土を手に入れた元親にとって承服できるものではなかった。そして交渉は決裂し、戦いになるのである。

1585年6月16日、秀吉の弟・秀長が3万の軍勢を率いて淡路島に渡った。秀吉の甥・秀次率いる3万も出撃し、6万の大軍が阿波に上陸した。さらに、宇喜多秀家を中心とした2万5000の軍が屋島に上陸。そして、伊予方面には毛利輝元の軍勢4万の大軍、小早川隆景や吉川元長らが上陸した。

元親は、4万の軍勢を持っていたが、四国の各地へ兵力を分散させて秀吉軍を迎え戦わねばならなかった。秀吉の大軍に対し、大勝負をしようとしたのだが、四国の軍は雲霞のごとき秀吉軍勢に気を飲み込まれ、どこでも華々しい戦は無く、元親は降伏するのであった。このような戦況の中、この新居の金子備前守元宅率いる2000の軍勢のみが、毛利の大軍3万と火花を散らしたのである。

紙面の都合により、「天正の陣」については、次回とします。

神郷校区地域学校協働本部事業報告

今年度も、コロナウイルス感染予防対策をとりながら、いろいろな形で地域の皆様に学校支援をお願いしました。協力して下さいました皆様ありがとうございました。

来年度も継続予定です。興味のある方は公民館まで是非お知らせ下さい。

- ・登下校時の見守り活動
- ・4年生への神郷史情の指導
- ・ゴーヤカーテン・寄せ植え教室
- ・遠足の迎え
- ・昔の遊び教室 2年生対象
- ・しめ縄作り教室 5年生対象
- ・6年生のミシン教室補助
- ・6年生の調理実習補助
- ・防災講演会 4年生
- ・防災体験教室 2・4年生

ゴーヤカーテン作り



防災体験教室 水中ポンプ



調理実習補助



防災講演会



市営住宅入居者募集（申込み）

市営住宅への入居者を次のとおり募集します。

- ・申込期間：令和3年2月8日（月）～令和3年2月22日（月）

※窓口でしか申込できません（郵送、メール不可）

- ・募集团地：①南小松原、②高津、③城下、④新田、⑤新田第二、⑥北新町、⑦西の土居、⑧新須賀、⑨泉宮、⑩泉宮第二、⑪西原、⑫治良丸南、⑬治良丸、⑭横山南、⑮松原

※詳細は館内掲示物、新居浜市営住宅管理グループホームページ、市政だより、新居浜市営住宅管理グループで配布している、市営住宅入居者募集要領をご確認下さい。

- ・申込条件：市営住宅入居者募集要領にてご確認下さい。

- ・問合せ・申込先：新居浜市営住宅管理グループ

〒792-0025

新居浜市一宮町一丁目6番37号 横山ビル1階

TEL0897-47-5218



2月（如月）の行事予定



2日（火）	19:00～	安全安心部会	神郷公民館
3日（水）	10:00～	乳幼児期家庭づくり講座	〃
7日（日）	19:00～	老人会長会	〃
14日（日）	9:00～	ドッチビー教室	小学校体育館
15日（月）	19:00～	民児協定例会	神郷公民館
20日（土）	19:00～	連合子ども育成会	〃
24日（水）	19:30～	連合自治会長会	〃
27日（土）	9:30	第61回新居浜市公民館研究大会	

神郷公民館からのお知らせ

12月下旬から公民館屋根&外壁の全面塗装工事のため公民館全体に足場を組んでおります。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

3月上旬には完成予定です。